６／２１　校長室より №242

〈今日の地区大会報告会の講評で、次のような話をしました〉

　地区大会が終わって３日。優勝や県大会出場を決めた人は、じわじわと喜びが湧いてきているのではないでしょうか。西置賜の代表として、自信と責任を持って県でも活躍してきてほしいと思います。

　残念ながら敗れてしまった人・チームは、本当にお疲れ様でした。今あった大会報告では、各部が全力を出し切って試合をしたということで、とてもうれしく思います。ただし、中には気が抜けたような感覚を抱いている人もいることでしょう。しかし、敗れたからといって今まで流した汗が無になることは決してありません。体力的・技術的にはもちろん、精神的にも部活動を通じて得たものは多くあったはずです。それを財産とし、新たな目標に向かって今までのエネルギーをそちらに注いでいってほしいと思います。大切なのは、昨年も言いましたが「**負けたことに負けない**」ことです。負けたことで投げやりになったり、負けたことを人のせいにしたり、あるいは負けて落ち込み過ぎたりしないことです。負けたことを謙虚に受け止め、さらには負けたことから何かを学んで、次の目標にしっかり向かって行ってください。

　今回の大会では、バスケ会場(飯豊中)での文化部の皆さんの応援が素晴らしかった。心を一つにした大きな声での応援歌やエールは、大いに選手の背中を押し、勇気を与えていました。本当にありがとう！

　それでは、すべての部の健闘を讃えるとともに、西置賜代表となったみなさんの県大会での活躍を祈念して、地区大会の講評とします。ごくろうさまでした。